

科学フェスティバル in よねざわ 2008

「イライラ棒」

機器開発技術室 支援

第1回「科学フェスティバル in よねざわ」は、米沢キャンパス内の各分野研究室、OB教職員、高校教員、企業などが出展、全部で35の科学体感スペースが出揃い、2日間で1000名近くの来場者で賑わいました。

小学校からの唯一の出展となった窪田小学校の山口和夫校長の「イライラ棒」の科学体感スペースは、製作に1時間以上を要する工作でしたが、お父さんもハンダ付け作業に四苦八苦しながらも夢中になるほどの大人気でした。田村が1日目に製作指導の支援と2日目は山口先生から引継いで代行指導を行い、準備した材料50セットのすべてを作り尽くしましたが、手にできない子どもが多数出たのが残念でした。

日時 平成20年8月2日(土) 3日(日)

会場 山形大学工学部 4号館

体感スペース指導担当

8月2日(土) 山口 和夫(窪田小学校長)

8月3日(日) 田村 恒一(機器開発技術室)

” 遠藤 晋(M2 物質化学工学専攻)



科学体験スペース スナップ





科学フェスティバル in よねざわ 2008 メモ

主催 科学フェスティバル in よねざわ 実行委員会
日時 平成20年8月2日(土) 3日(日) 10:00 - 16:00
会場 山形大学工学部 4号館、他
出展数 35 科学体感スペース
来場者 949名(総合受付カウント数 2日:431名、3日:518名)

技術部関係担当者

出展 「身近な飲み物を分析してみよう」機器分析技術室
指導 佐々木貴史、草薙 美穂、四釜 繁
製作指導支援 田村 恒一
「イライラ棒」窪田小学校 山口和夫 校長出展スペース

実行委員会 副実施責任者 田村 恒一
実行委員 石谷 幹夫、菊地 真也(HP担当)

映像記録担当 中島 孝則、遠藤 茂、鈴木 秀茂、高橋 俊博、沓澤伸明、菊地 真也